

平成 23 年度 第 5 回 C C C 土木工学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 24 年 2 月 27 日 10 時 30 分から 12 時 30 分まで
II. 場所 : 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者 : 片田敏行委員, 北詰恵一委員, 武田 誠委員
井端事務局長, 森下主幹, 野本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

学士力実現に求められる必要な ICT 活用の具体的な検討について

(1) アンケート意見を踏まえた、教育改善モデル案の検討について

土木工学教育における教育改善モデルについてのアンケート結果から、参考となる意見を反映させて授業モデルの修正を行った。

NO.1 現場見学が最も効果的、3D 映像の活用、ファシリテータの育成が不足

NO.2 上級生との対面教育が効果的

NO.3 模型の活用

NO.4 体系的な補間、常に振り返りが大事

NO.7 優しいレベルから繰り返す。応用数学・応用物理の有用性の体得

中間まとめ案 1 は、これらを意識して修正が行われた。

- ・授業のねらいに、社会の要請を追加した。
- ・授業の仕組みは、「シラバス間の調整を行い、学習上での役割分担を明確にした上で、」
「さらに、基礎知識の学びを繰り返し行うために」を追加した。
- ・学習内容・方法には、「不足している基礎力の顕在化を行い、大学として補完授業を行うことで振り返り学習に反映させる。」などを追加した。
- ・学習環境に「3D など」「模型映像など」を追加した。

NO.1 現場見学が最も効果的

NO.2 実務者の指導を含めた課題解決型の教育は課題が多い。

NO.6 「到達度としての学生が身につけてる能力」に総合的なマネジメントに関する項目が入っていない。

NO.7 大学の授業が有機的に結びついていない。

中間まとめ案 2 は、これらを意識して修正が行われた。

- ・授業の仕組みには、「体系化と統合化」を追加した。
- ・授業シナリオには、「そのため、土木事業の現場見学会および文献事例、記録映像のデータベースなどの現場情報へアクセスを行い、対象の土木事業の概要を認識させる。」を追加した。

なお、「2.3 対面と ICT を用いた授業シナリオ」「2.4 対面と ICT を用いた学習内容・方法」「2.5 対面と ICT を用いて期待される効果」「2.6 対面と ICT を用いた学習環境」に修正された。

(2) 授業の点検・評価・改善について

中間まとめ案 1 について、「授業の点検・評価・改善について」に関する項目が作成された。

この授業の点検・評価・改善は、科目間の役割分担の適切性について教員間で作成した評価シートを用いて意見交流する。また、基礎知識の定着度合いを確認するため、受講生および上級学年のファシリテーターや現場見学先の意見をもとに授業方法の改善策を検討する。

中間まとめ案 2 について、「授業の点検・評価・改善について」に関する項目が作成された。

この授業の点検・評価・改善は、専門知識の体系化と統合化が授業科目間で実践されているかどうかをシラバス調整会議などにより教員間で意見交流を行い、カリキュラムフローの設定内容の改善に反映させる。また、学習ポートフォリオや実務者へのヒアリングを通じて、土木事業のマネジメントへの理解度を確認し、改善に取り組む。

これらの作業によって、「中間まとめ案」(2つ)の修正が行われた。

V. 次回の開催日程 メールにて調整